

手指の痛みと変形

整形外科 小野浩史

手指の関節には指先側から第1関節、第2関節、第3関節とあり、第1・2関節に痛みや変形が生じることが多いです。

指関節の痛みや変形の原因として多いのは、関節リウマチと加齢やケガの後に起こる変形性関節症です。

関節リウマチは、手では主に第2関節や第3関節が腫れて痛みを伴いますが、手首が腫れて痛いこともあります。手指の第1関節は腫れることはありませんが、全身の他の関節に腫れや痛みが出ることも多いです。

リウマチが進行すると、朝の起きがけに手指のこわばりを感じ、関節の変形がひどくなります。中年女性に多いですが男性も少なくありません。関節リウマチの診断にはレントゲン、MRI、超音波血液検査などが行われます。

関節リウマチの治療は近年著しく進歩し、今では発病早期にきちんと治療すれば治る患者さんもいますので、早期診断、早期治療が極めて重要です。

手指関節の痛みや腫れが数週間も続くようであれば、早めに受診してください。当科では月・木・金曜日にリウマチ専門医が診察しています。

40歳台以降の女性で第1関節による変形性関節症（ヘバーデン結節）が一般的で、時には第2関節にも変形が及んでいることもあります。多くは関節の変形が数年かけて進行しそれに伴い関節が固まり、痛みは次第に軽減するので、あまり心配ありません。

しかし、なかに変形が進行することによって関節にぐらつきが生じることがあり、このような指は痛みが続くことが多いです。日常生活の動作に支障を来すほどの強い痛みは治療の対象となり、薬物療法やテーピング、それらが無効の場合には手術も行われます。

この他にも手指に変形が現れる病気としては、膠原病、心臓病などいろいろ考えるられます。指の病気が簡単に考えず、一度整形外科で相談することをお勧めします。

近代国家

町長日記

8月に入り夏休みまったただ中、我が家ではまだ下の子が小学2年生なので思い出づくりにと、思い切ってハワイに行ってきた。海ではシュノーケリングやイルカと一緒に泳いだり、ホテルではプールにとさんざん遊んできた。子供にとつては楽しかったと思うが、この歳になると行である。つくづく体力の衰えを感じる。

そんな中、今年も8月15日がやってきた。昭和16年12月8日、我が国はこのハワイ真珠湾に攻撃を仕掛け無謀な戦争に突入していった。結果、民間人を含む多くの日本人が犠牲となり、国土は焦土と化して敗戦を迎えた。その多大な犠牲の上に今の平和が成り立っていることを、このハワイで休暇を楽しむむいたたい何人が理解し感謝の念を抱いているだろうか。

日本では集団的自衛権の行使について物議を醸している。この議論を聞いていて素直に不思議に思うことがある。集団的自衛権を容認すると日本が戦争を引き起こす、徴兵制になり国民が戦争にかかり出される、国会で総理に「自衛隊員が死んでもいいのですか」と詰め寄る輩さえ現れた。しかし本来集団的自衛権とは誰を守るためのものか。我々国民の生命と財産を



田原本町長
寺田 典弘

守るために行使されるべきものではないのか。敗戦後69年間平和国家を貫いてきた我が国の姿勢は自他共に認められている。現在の高度な技術での戦争に一般人が役に立つとは思えない。また自衛隊とは、いざという時には人を殺すことも、自分が死ぬことも前提に入れた人が就く仕事であり、宣誓文にも「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め」ることを誓っている。脆弱な我が国の防衛力は集団的自衛権行使容認による日米同盟の強化での抑止力整備が最善の策だと思える。

近代国家は主権者によって動かされる。集団的自衛権を行使するのはその主権者ではないのか。我が国は主権在民、我々国民が主権者である。主権者が自らの手によって自分達の生命と財産を守らなければならない。技術的、法的論よりも「誰が我々国民の生命、財産を守るのか」といった原則論のほうが大切である。